

お寺のデイサービス

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい…
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

〒244-0002

横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348

FAX 045-881-0379

E-mail@zenryouji.jp

<http://www.zenryouji.jp>

発行責任 善了寺還る家ともに

還る家 ともに日誌



稲刈り

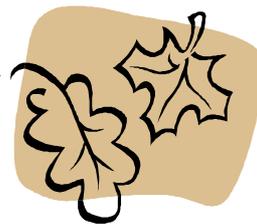
バケツと発泡スチロールで育てた稲も、ようやく実り、稲刈りをしました。水をやってよいのか、抜いた方がいいのかわからず、経験者からのアドバイス頼みで、とにかく手探りで、育てた「善了寺米」

何ととっても、バケツ稲ですからね。コシヒカリには、足元にも及ばない出来だけど、稲刈りの日、鎌を持つおじいさんたちの情熱にカメラを向けずにおれない私の情熱も混じって、涙もうるむ感動でした。



ある日の午後

Kさんは思ったこと、考えたことは、ズバっといつも言います。ある夏のとても暑い日お昼を食べた後で、スタッフと、利用者さんとで、「お昼寝しようか」という話が出ました。そこで、スタッフが、布団を3枚敷き詰めました。すると、お昼寝なんかしたことがないというKさんが、布団の上で、「枕は？ちょっと掛けるものないの？」そして、しばらく横になってキョロキョロとされていましたが、「空と、緑が見えてなんだかキャンプしているみたい」と笑顔で話していました。その後、すやすやと、30分くらい熟睡されました。目を覚ますと、「たまには、こういうのもいいわねえ」と、また笑顔。一人一人を大事にすると、表面の形だけじゃなく、こういうことなのかなあ、と、Kさんの寝顔を見ながら、ふと、うれしくなりました。



沢野 栄子

編集後記

食品の問題が、世間を騒がせています。子供が大好きなウインナーや、安心して食べたい主食のお米まで。添加物や、保存料、残農薬は身体に影響をもたらせます。かといって、自給自足することなどとうてい出来ず、今日もまた、間違いなく流通の中に自分も入り込みます。そんな生活の中で、ほんの少しでも、残飯を利用した有機肥料や雨水を利用し、無農薬で家庭菜園を育ててみれば、毎日、何気なくいただいているものにも、少しずつでも、食に対する気持ちが変わるような気がします。雑草と虫との共存は甘いものではないようですが・・・ 坊

ボランティアさん 敬称略

中嶋 芳江	秦野かねよ
安藤 信子	竹中 秀子
西岡美都里	寺島 美代
渡井 敏子	朝倉 好子
別府与志子	濱崎 芳子
市野和歌子	弓削 福子
矢口 和子	秦野 雅子
有働 桂子	飯島 慶子
斉藤 悠子	藤野 淳子
遠嶋 信子	藤井千恵子
八蔵巻靖子	樋笠 ツネ
米村 正男	小寺 久枝
江田 峯子	中島 雄子
土田 正夫	大木 真紀
村井ヒテ子	江尻 伸子
牛島 寛子	大金スエ子
金原美枝子	仙庭 治恵
犬塚 照夫	松村 節子

お礼

先月 使い古しのじゅうたんを募集したところ、多くの方にご寄付いただきありがとうございます。おかげさまで、有効に使わせていただくことが出来ました。ありがとうございました。



ボランティアさん募集

お話相手、食事づくり、カラオケ、習字(生徒)、手芸、園芸などの趣味活動など、ご都合にあわせてお力をお貸しください。詳細はお問い合わせください。

